10月号
No.629
ラポール[raport仏]
相互の信頼関係、つながり、関係の意。

ラポール
大阪労働者福祉協議会
http://www.osakarofukukyo.or.jp/

発行所
一般社団法人・
大阪労働者福祉協議会
〒540-0031
中央区北浜東3番14号
電話06(6943)6025
毎月1日発行 1部20円
発行人　廣石健次
編集協力・機関紙広報研究センター

▲中央労福協のLSC実務者・相談員研修会。内容も豊かで、参加した相談員も真剣

中央労福協が大阪で

相談活動のさらなる充実に向け
LSC実務者・相談員の研修会

全国的に展開されているライフサポートセンター（LSC）の相談事業を充実させるために、各都道府県の実務者や相談員の研修と育成を進め、生活に関わるさまざまな問題に対応できる体制づくりを目指し、労働者福祉中央協議会（中央労福協）は9月26、27の両日、大阪市中央区の大阪キャッスルホテルで「第6回LSC実務者・相談員研修会」を開いた。主催者も含め30人が、幅広いテーマに真剣に耳を傾けた。

相談内容で具体的に出てくる相続の問題、消費者問題、社会の構造から増えつつあり必須ともいえる認知症と予防、メンタルヘルス、参加府県の担当者らによる経験交流でさまざまな相談事例を共有し、これからの相談事業に生かすための時間も設けられ、西日本を中心に参加した相談員らは、集中して講師の話を聞き、ときにうなずき、各講師の講演の後には具体的な質問も出された。

単元1は中原会計事務所の中原さくら税理士が「相続税」について、単元2は「メンタルヘルス」。苅田尚晴精神保健福祉士が、相談員のメンタルヘルスの重要性を、単元3では日本音楽レ・クリエーション指導協会の堀口直子理事長が「認知症と予防」について、音楽と脳トレ実践の効果などを実習を交えて伝え、自分のパーソナルソングを見つけることの必要を解説。

交流会をはさみ、2日目は「消費者問題」を消費生活コンサルタントの勝又長生氏が具体的な事例を挙げて説明した。

経験交流の時間では、相談員からは日常の相談内容や問題点や事例が挙げられ交流が深められた。

えーる大阪

あまり知られていないが、10月15日は「世界手洗いの日」である◆世界で、5歳の誕生日を迎えずに、命を終える子どもたちは年間590万人。その原因の多くは、予防可能な病気だといわれている◆日本人の生活には、当たり前にある水やトイレ、そして食事…それらが不足しているために、不衛生な環境や生活習慣を強いられ、下痢や肺炎にかかって命を失う子どもたちが年間約150万人にも達する。石けんを使ってしっかり手洗いができれば、世界で年に約100万人の命が守れるそうだ。また、下痢によって学校を休まなければいけない子どもたちが大幅に減る。柵の上にしゃがんで、用を足しても紙などがないので、手で大便にふれることになる◆「せっけんを使った手洗い」それだけのことが、世界においては容易ではないという現実を認識したい。

退職準備セミナー

11月25日(土)・北河内
●守口文化センター3階会議室2（午後1時半～午後4時）

12月9日(土)・河内
●近畿ろうきん東大阪支店（午前10時～午後0時半）

1月13日(土)・大阪市
●エル・おおさか本館10階松の間（午前10時～午後0時半）

1月13日(土)・大阪市
●エル・おおさか本館10階松の間（午後1時半～午後4時）

セミナーは年金、雇用保険、健康保険、税金に関する講座で、定年を迎えるときに必要な基本的知識を習得できる内容。講師はいずれも保理江正剛氏。先着順に受け付け。定員20人。

お申し込みは大阪労福協（06・6943・6025）へ

＊退職準備セミナーの10月はすでに満員になっています。

大阪労福協が10月31日に総会
LSC事業の一層の進化など柱に

大阪労働者福祉協議会（大阪労福協）の秋の取り組みが進められているが、2016年度の事業を総括し、17年度の運動の具体化に向けた方向を確認する第55回定期総会が10月31日に、大阪市中央区のエル・おおさか南館南ホールで開かれる。

労働者福祉事業の発展と拡大に向けて、従来から取り組んできた事業・活動の進化（深化）をはかり、新たな運動として社会問題化している「奨学金問題」を取り上げ、制度改善に向けた社会運動を繰り拡げ、その制度を実現させるなど大きな成果もあげて来た。署名活動や街頭でのアピール、労福協運動は全国に広まり、大阪労福協は運動の中心を担ってきた。また、地域における目に見える活動としてライフサポートセンター事業、工夫を凝らした「なにわ美術展」の継続開催、年に2回の時局講演会、さらに退職準備セミナーなど好評を得ながら毎月開催を継続している事業もある。関係団体との連携強化をはかりながら、これらの取り組みを分析、総括し新年度の運動に生かす総会となる。同時に、「働く人々とその家族の生活向上をはかり、平和で豊かな暮らしを保障する社会の実現をめざす」という大阪労福協の基本理念に立ち戻り運動を進めること、「LSC事業」の一層の進化に向けた方向性なども提起され、役員選出も行われる。

▲8月に開かれた労働組合の「自主福祉講座」。講師は大阪労福協から派遣

労働者自主福祉講座を あなたの組織で開催を

「労働者自主福祉講座はいかがですか」。

働くことを軸とする安心社会の創造には幅広い世論形成が不可欠で、労働者自主福祉運動のウイングを拡げるためにも、歴史に学ぶとともに現状を理解し、共助のシステムを見つめ直し、次代へつなぐ運動を進めていくことを呼びかけている労福協。組織や団体からの要請を受け講師派遣を行っている。「労働者自主福祉運動の歴史・理念そしてこれからの課題」が基本テーマで、労金や全労済の協力を得ることもできる。講座開催、講師派遣については気軽に大阪労福協へ問い合わせを。

秋の夜長に十五夜と十三夜

人は時に科学では説明できないパワーなどを感じたりするのも事実。昔から人々は、月のパワーを信じ、神と崇め、月の満ち欠けと共に暮らしてきた。「十五夜」は旧暦の15日の夜のことで、新月と呼ばれる月が出ないときから満月になるまで15日ほどかかることからそう呼ばれている。この考え方であれば毎月十五夜はあるのだが、もう一つ十五夜には「旧暦8月15日の夜」という意味もある。

また「十五夜」といえば「中秋の名月」のことと考えてよい。現代では、9月7日から10月8日の間に訪れる満月（または満月に近い）の夜の日が「十五夜」「中秋の名月」となり、今年は10月4日がそれにあたる。

一方、十三夜とは、十五夜の後に巡ってくる十三夜をさし、旧暦9月13日の月見のことで、今年は11月1日。十五夜（中秋の名月）から約1カ月後に巡ってくる十三夜は、十五夜に次いで美しい月だといわれ、昔から大切にされてきた。十五夜または十三夜のどちらか一方の月見しかしないことを「片見月」と呼び、縁起が悪いといわれている。

中秋の名月の後なので、「後（のち）の月」と言われたりする。また、十三夜には栗や枝豆を供えることから「栗名月（くりめいげつ）」「豆名月（まめめいげつ）」ともいう。どちらも農耕生活の中にあった。実りの秋に感謝し、名月を鑑賞してみては。

エル・おおさか10F
ピアノとギターのコンサート
ランチたいむコンサート
10/16(月) 午後0時10分
出演・曲目　星山　智子（ピアノ）
大西　洋二朗（ギター）
予定曲　4つのエチュードOp.4、アルハンブラの思い出、アランフェス協奏曲から第2楽章 ほか
入場無料

ライフサポートセンター おおさか★★★
ひとりで悩んでいませんか？

相談内容
電話 0800-200-0154（フリーアクセス）
URL http://www.osaka-lsc.jp/
相談日 月～金曜日の平日　時間 午前10時～12時 午後1時～4時
相談は無料です　ただし、裁判や実務依頼されるケースの場合は、それぞれの取り決め額の支払いといたします。
※ライフサポートセンター大阪中央には、毎週木曜日、社会保険労務士が常駐しています。

相談項目	主な相談内容	相談窓口
労働相談	雇用・賃金・労働時間	連合大阪など
暮らし・生活	生活資金・ローン・多重債務	近畿労働金庫など
福祉・保障	災害保険・介護サービス・子育て	全労済・NPOなど
生きがい趣味	ボランティア・サークル	NPOなど
社会保障	社会保険・年金・雇用	社会保険労務士
税務・法律	税金・相続・確定申告	弁護士・税理士など
冠婚葬祭	式場など	大阪各地域労福協

ライフサポートセンター　地域センター 大阪中央・北大阪・北河内・河内・大阪南
構成団体 (一社)大阪労働者福祉協議会／連合大阪／近畿労働金庫大阪地区統括本部／全労済大阪推進本部／大阪府社会保険労務士会

自然・ふれあいフェスティバルに参加を

家族や職場の仲間とマス釣り・芋ほりを

北大阪労福協

北大阪の恒例となった企画行事「自然・ふれあいフェスティバル～マス釣りと芋ほり～」が11月3日に、高槻・摂津峡で行われる。

マス釣り大会の参加費は中学生以上が1500円（釣り竿は貸出）で、釣った魚を持ち帰るクーラーボックスなどを準備すること。芋ほりは、料金は1株250円（1人2株で事前に予約）で、軍手、スコップ、持ち帰り用の袋などは各自で準備を。どちらも大会形式をとっており、マス釣りは長寸を競う。芋ほりは1個当たりの重さを競い、いずれも1～3位が表彰される。

▽20周年行事

北大阪労福協20周年行事（連合大阪統一環境行動）として10月29日の午前中（昼食後解散）に箕面市「連合大阪の森」の遊歩道整備、下草刈り、20周年植樹などを行う。構成組織への参加が要請されている。

▽地域労福協合同研修会

8月22日に「大阪労福協、5地域労福協合同研修会」が、豊中市伊丹市クリーンランドで開かれ、NPO豊中・伊丹環境政策フォーラムによる体験研修と見学が行われ、ごみ問題の現在や環境とのかかわりについて学んだ。

▽第2回セミナー

「労福協ってなに？　全労済や近畿ろうきんとの関係はどうなっているの？」など、日常の疑問を考える第2回自主福祉講座が8月25日に大阪市淀川区で行われた。

地域　労福協

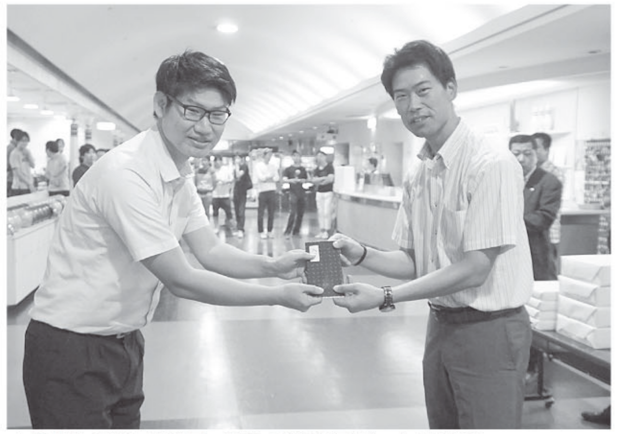
地区大会で本戦への出場チームが確定

大阪南労福協

大阪南労福協は、「第8回地区協選抜対抗ボウリング大会」を大阪南地域の勤労者の親善と幅広い交流を目的として10月13日の夜に、貝塚市のコスモレーン（南海貝塚駅より徒歩2分）で開くが、それに出場する代表を決める堺、泉州、泉南の各地区大会が終了し、代表が決まった。

13日の夜に行われる地区協選抜対抗大会では、地区議長の始球式のピン数も加味され、最下位地区になると次年度の当日運営を担うことになるなどのハンデもありユニーク。個人戦は優勝をはじめ2位、3位、BB、BM、飛び賞などが予定されている。

▲堺地区9月12日、ラウンドワン堺駅前店


▲泉州地区9月12日、T.T BOWLラパーク岸和田

▲泉南地区9月15日、泉南市 ストライクス

定年後に再度スポーツに挑戦／社会生活基本調査

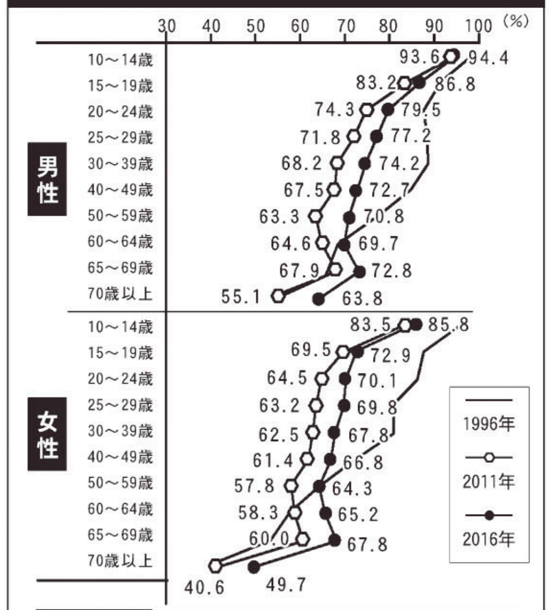
健康づくりに意欲的なシニア

5年ごとに実施されている「社会生活基本調査」では、生活行動の調査の一環として、各種スポーツを過去1年間にどのぐらい行ったかを調べている。ここでは、いずれかのスポーツを過去1年間に行ったかをあらわす行動者率を男女年齢別に取り上げて、世代別、男女別などでの違いを比べてみた。

結果は、年齢別にみると男女ともに中学でスポーツを行う10代前半が最も高く、高校の10代後半がこれに次いでいる。その後、男は60代前半まで、女は50代まではスポーツ行動者率が低くなっていくが、定年の年代に入るとむしろ反転上昇する。しかし、70歳以上になると、やはり身体の衰えからか、再度スポーツ実施率は大きく低下する。

20年前の男女年齢別のカーブと比較すると、かつては加齢とともに、一方的にスポーツ行動者率が下がっていた。現役世代では、仕事や学習、スポーツ以外の趣味、あるいは外出やおしゃれで忙しくてスポーツを行う余裕がなくなっていたものが、最近は定年後の年齢にいったんスポーツ行動者率が上昇するようになった点が大きく異なっている。スポーツは身体が頑健な若いころ行うものという考えより、団塊の世代の健康ブームなどで、健康づくりをめざし、高齢者スポーツがさかんになるようだ。

男女年齢別スポーツ行動者率



10歳以上男女計の推移	1996年	2001年	2006年	2011年	2016年
	76.0	72.2	65.3	63.0	68.8

（資料）総務省統計局「社会生活基本調査」

天満橋

ひとつの扉が、拓（ひら）いた！　2017年9月9日、日本陸上界での出来事である。高く、厚く、永く、遠かった、10秒の壁。男子100メートルで、「9秒98」の日本新記録が出た。1998年、今から19年前にでた日本記録が、10秒00▼彼は高校3年生で、10秒01の記録を出し、大学4年生で、9秒98。100分の3秒（10秒01→9秒98）を縮めるのに並大抵の努力ではなかったはず。体調や調子が良い時もあれば、当然、悪い時もある。「9秒98」と表示されると、大声を上げて涙をボロボロ流しながらトレーナーと抱き合い、周囲の人からの祝福を受け入れた。さらに記者会見でも、感謝の言葉や入学時に反発したことなどを口にする横で涙を流し続けていた▼ライバル達も「悔しい」「おめでとう」など複雑な思いがあると思う。これからも各選手が、切磋琢磨しながら記録を伸ばしていくことを期待していきたい。オリンピックファイナル選手は、9秒台の記録が一般的。しかし9秒台の記録がない日本人選手は、昨年のリオ五輪400メートルリレーで銀メダル。今年の世界陸上400メートルリレーでは、銅メダル▼ますます、今後の陸上界が面白くなってくる。（吉祥　翔）

大阪府事業所福祉共済事業

大阪府内の中小企業で働く勤労者が豊かで充実した生活を送るため、府内市町村で勤労者互助会事業が実施されています。(一財)大阪労働協会が窓口となり、府内市町村で実施している勤労者互助会事業を、再共済事業方式によるスケールメリットを活かして、ホテルなどの施設の割引サービス・宿泊施設などの利用補助等の事業を実施しています。

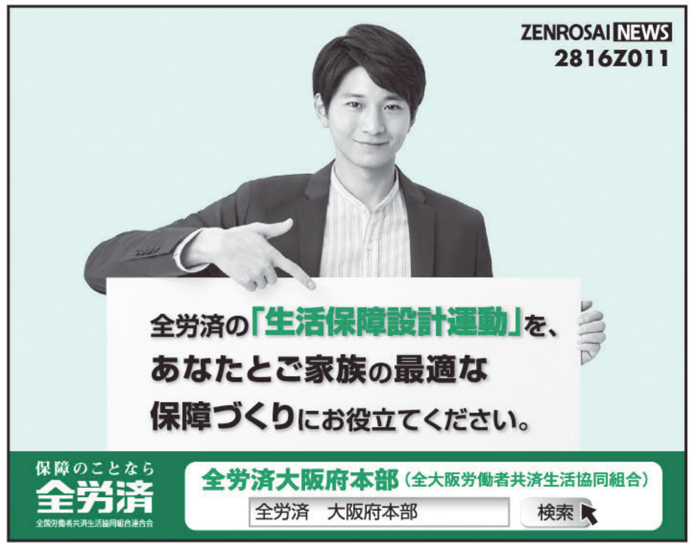
「おおきにNet」は、勤労者互助会事業の更なる拡充・広域化を推進するために作られた統一ロゴマークです。

お問い合わせ　一般財団法人大阪労働協会　共済事業担当　TEL:06-6942-0787

ホームページ　大阪府事業所福祉共済事業　http://www.l-osaka.or.jp/fukushi-kyousai

10月　きょうは何の日？

◆1日（日）衣替え
◆2日（月）大阪南労福協第10回幹事会
◆3日（火）海員組合労働者自主福祉講座、登山の日
◆4日（水）十五夜
◆5日（木）サービス連合労働者自主福祉講座
◆6日（金）大阪社会運動協会物故者顕彰・追悼式式典委員会、国際協力の日
◆8日（日）寒露、木の日
◆9日（月）体育の日
◆10日（火）目の愛護デー
◆11日（水）全労済大阪推進本部責任者会議、中部労福協2017年度研究集会（～12日、和歌山市）
◆13日（金）大阪市労福協ボウリング大会（心斎橋サンボウル）
◆14日（土）退職準備セミナー（大阪市労福協、午前10時～エル・おおさか10階松の間）、鉄道の日
◆15日（日）大阪社会運動協会物故者顕彰・追悼式（午前10時、城見ホール）
◆16日（月）世界食糧デー
◆17日（火）第3回労働者福祉運動推進検討委員会、大阪府への要請
◆20日（金）アルファ・オメガ取締役会、土用
◆22日（日）時代祭（京都市）平安遷都の日
◆23日（月）霜降
◆25日（水）大阪労福協部内会議、河内労福協第2回幹事会、大阪南労福協第11回幹事会
◆26日（木）北河内労福協第3回幹事会、柿の日
◆27日（金）文字・活字文化の日、読書週間（～11月9日）
◆30日（月）大阪市労福協第6回幹事会、尾崎紅葉忌
◆31日（火）大阪労福協第55回定期総会（午前10時、エル・おおさか南館5階南ホール、2017年度第1回三役会、2017年度第1回役員選考委員会、ハロウィーン



アルファからオメガまで

UNION SERVICE

人と人をつなぎ、時代のいろんなモノ、結びます／愛称：連合ユニオンサービス

●機関紙や定期刊行物、パンフレット、チラシ、ポスターなどの発送代行
●機関誌（紙）やパンフレットなど印刷全般
●各種集会・会議・研修会の会場予約・講師派遣、看板・ディスプレイ作成

アルファ・オメガは、設立以来、連合大阪をはじめ各事業団体、構成組織、単位組合や各級議員の皆様に支えられて事業展開を行ってきました。引き続き、皆様のニーズにお応えできるよう努力を積み重ねてまいります。一層のご愛顧を頂きますようお願い申しあげます。

(株)アルファ・オメガ　TEL 06-6305-1653　FAX 06-6305-5316　E-mail:a-omega@feel.ocn.ne.jp

＊コラム「天満橋」は大阪労福協理事が輪番で担当しています。